



集められた牛乳パック
「あっ、生協の見つけた！」

「牛乳パックが トイレットペーパーになるんだね」 ～(株)リバーズ工場見学～

7月30日 城東区・鯉江パル委員会 大人10名子ども9名参加



組合員活動の
コーナー

「くらし」の4つの柱にそって各地域で多彩なとりくみが行われています。



(株)リバーズ
製造事業部
部長
上野さん

「生協のコアノンロール(トイレットペーパー)は古紙100%やし、紙芯などで作られているからリサイクルの学習にもなるね」と大阪府泉南市にある(株)リバーズへ。
原料は牛乳パックや企業などから出される古紙です。牛乳パックは繊維が長く残っているため、一番良い原料として分類され入荷されます。また、企業の書類などは個人情報保護のため、ダンボールに梱包されたまま一度も開封されずに、巨大なミキサーで溶解処理へ。金具やビニールテープなどが含まれていても、遠心分離機で紙以外の不純物を除いてリサイクルペーパーの原料になるそうです。また、コープのトイレットペーパーは無漂白のため真っ白ではありませんが、その分環境への負荷を減らしているとのこと。

「やわらかくなってパッケージも変わりました」

専用芯がなくても使える「太穴タイプ」



CO-OP
やわらか
ワンタッチコアノン
シングル 11月1回
130m×6ロール 398円

なが～い



再生されてトイレットペーパーの原紙になったもの

理事会・監事会報告

2013年度 第5回
9月6日

(単位：千円)

事業概況	8 月 度			累 計 (4月～8月)		
	実績	計画比%	前年比%	実績	計画比%	前年比%
供給高	3,970,252	99.5	103.1	20,839,537	100.1	99.9
供給剰余金	985,664	99.8	103.7	5,188,924	98.8	99.4
福祉剰余金	4,010	104.9	142.9	17,981	132.4	119.4
事業総剰余金	1,088,834	99.7	103.9	5,707,760	99.0	99.6
事業経費	1,079,426	99.1	103.7	5,492,967	99.4	101.2
事業剰余金	9,407	340.5	130.6	214,793	89.7	70.8
経常剰余金	16,151	161.2	142.4	260,729	97.3	77.0

〈監事会報告〉2013年度 第5回 定例監事会(9月6日)

- ①関連法人(株)コ・ジャスナ」の監査の進め方について整理しました。
- ②前回監事会以降の事業所監査状況を報告し意見交換しました。
- ③阿倍野組合員会館およびホームヘルプ南部センター(福祉事務所)を訪問しました。

※監事の役割：総代会で選ばれたパルコープの監事6名は、各々が専門性を持ち、役割分担しながら、パルコープの運営が問題なく進められ、社会的信頼が確保できるように、職務の執行を監査しています。

おもに討議、確認した内容

- 共同購入の供給高は計画比98.7%。1世帯当りの利用は計画比105.5%でしたが、利用人数の計画比96.5%をカバーできませんでした。店舗の供給高は計画比103.1%で計画を達成(前年比101.8%)、来店人数は前年比で101.1%でした。
- 商品の変更(産直徳島豚の飼料、さくら卵の産地)について、2014年2月からの商品代金引落とし日変更の件、他団体からの要請およびくらしのとりくみ、被災地支援と今後のすすめかたについて確認しました。

パル・よどがわ・なら
組合員さんの

2013年度 第8回 岩手ボランティアバス報告

第8回・9月13日～16日 57名参加

2013年度のべ502名



陸前高田の上長部の郷で畑にマルチ(黒い保温ビニール)を引き、大根や白菜の種まきをしました



NO.41

被災者に寄り添い、絆をつなげる支援活動を



この夏と秋に、陸前高田市と遠野市で2つの旅行企画に関わらせていただきました。一つは、「ボランティア作業はできないが何か応援したい」という組合員さんの声から企画された「東北応援ツアー」(右記参照)です。

もう一つは三陸鉄道が団体の被災地視察をサポートするため企画した「被災地フロントライン研修」で、今回は岩手県内陸の中学生が、大船渡の被災地(津波伝承館など)を訪ねた後、ボランティアを体験し、また運転再開した三陸鉄道・南リアス線「震災学習列車」に乗り、乗務員から体験を学ぶという内容でした。これは中学校の先生(3.11当時、沿岸部で勤務・被災、その後内陸へ勤務地異動)の強い要望で企画されたそうで、その先生は「授業で何度話しても生徒たちにはどうしても伝わらない。沿岸部に足を運び見聞きするしかない」という思いがあったとお聞きしました。

2つの旅行企画で訪れた方が「被災地に来ること自体が応援」と感じられ、「自分のことばで語り部に」なれることを実感しました。

(NPO遠野まごころネットに常駐する
パルコープボランティア事務局・林さんより)



遠野まごころネットのホームページは<http://tonomagokoro.net/>

ずっとボラの会(ボランティアバス参加者の有志の会)よりお知らせ

第3回の「東北応援グッズの店頭販売」を西くずしは店で行い、参加者は12名、売上げは99,900円、募金は4,408円お預かりし、収益と募金は東北支援募金へ入れさせていただきました。次回は10月27日(日)に枚方公園店で10時から開催予定です。のぞいてみてください。枚方公園店の場所は下記HPから。http://www.palcoop.or.jp/shopping/shop/sh_hirakata.html

第8回ボランティアバスは陸前高田市と大槌町(写真は1ページ)に分かれて活動しました。帰りのバスは台風18号の影響で長時間の足止めというアクシデントにあいました。

(陸前高田の旅館で現地の方にお話を聞くことができた。テレビでは、復興が進んでいるように映っているけど、実際に来て見たらわかるでしょ。あと何年もかかること。丘を登る際に地面を見ると、お皿の破片や、ガラスの破片、流されてきたコップがあったのが考えると胸が痛くなりました。今回は雨の影響で農作業が途中までしか進まず、力になれたのか不安でしたが「微力は無力にあらず」を胸に活動しました。一番私たちがすべきことは、自分の周りの人に伝えること。見て、聞いて、感じた事を関西で伝えていこうと思います。

パルコープ・よどがわ市民生協オリジナル

東北応援ツアー(旅行企画)報告

9月8日～10日と18日～20日の2回、生協オリジナルの「東北応援ツアー」を開催し、延べ44名の方が参加され、宮城県・岩手県の観光と陸前高田市の被災地視察をしました。

陸前高田市の
追悼施設前で→



「希望の灯り(阪神淡路大震災慰霊の灯火の分燈)」のある気仙大工の伝承館にて↓



↑開上さいかい
市場(仮設商店街)でお買い物

<参加された方の感想より>

- 東北を応援したいという皆さんの気持ちが一つで充実した3日間でした。足を運んで見せていただくことにより、災害から何を学び、何を伝えたいいけないか、またこれからもしっかりと応援し続ける事を教えていただきました。
- 遠野ふるさと村でゆっくりできたのが印象的でした。被災地視察も、実際にこの目で現状を見て改めて自分でもできる支援を考えたいと思いました。なかなか訪れる機会がなかった被災地と東北をまわることができて嬉しかったです。また東北に行きたいと思います。